



(発行)
熊本市教育委員会事務局
学校教育部 総合支援課
学校サポート班
(文責)
指導主事 田中 慎一郎
tanaka.shinichiro@city.kumamoto.lg.jp

タブレットの中の権利に気づく

～ 見ようとしないと見えてこない ～



熊本市では、いよいよ一人一台タブレットを持つことになりました。これによって、子供たちに身につく力もたくさんあると思います。これからの社会で活躍する子供たちにとって、情報端末を有効に「使いこなす」のは大切な能力です。

この「使いこなす」には人の権利を奪わないことも含まれています。例えば、肖像権。授業で撮影したクラスメイトの写真は、写ったその人のものでもあります。もしも、勝手にその写真をインターネットで公開したり、加工したりすれば、写ったその人の権利を侵害することになります。撮影するときに一声かけるのも

マナーですが、撮影したあとの取り扱いにも十分に気を付けなければなりません。相手が迷惑をこうむった場合は、権利侵害などで訴えられる可能性があるかもしれません。また、逆に自分が撮影された時は、その写真には自分には権利があることを知っておくことも大切です。分かっておけば、被害に気づき訴えることができるからです。

他にも、人の撮影以外にも権利は存在します。黒板に書かれた板書を撮影するときも注意が必要です。自宅に戻って、板書で授業の内容を確認し、復習するのを一次使用と呼びます。一方、それを誰かに送信した

りネット上に公開したりすることは二次使用といえます。一次使用は認めるが二次使用については、禁止されているケースがあります。

権利は、注意して見よう

熊本市教育センターホームページからもバックナンバーを見ることができます。(〴〵) 且〴〵



としない気付かないものです。ぜひ、ご家庭でお子さんが使用されているタブレットには、どんな権利が隠れているか話し合ってみてください。それも、タブレットを使用する中で経験する大切な学びですね。

おはなし 聞いて



～依存の見分け方～

オンラインゲームにしてもSNSにしても、自分が依存の状態かどうか見極めるのは難しいですね。今回は、簡単な方法を伝えますので、自分を振り返ってください。

実は、この年末年始にゲームに熱中した大人の話を書きました。コロナ禍で実家にも帰れず、一人で部屋で過ごさなくてはならなかったそうです。特段することもなく、流行りのゲーム機を購入してゲーム三昧の毎日。子供たちがずっとしてしまう気持ちがわかるというのです。ところがこの方、仕事が始まったらあまりしなくなりました。やるべきことがあれば、そちらを優先するのです。

これが依存していると、やらなきゃいけないことがあるのに、すべきことをしないでゲームを選びます。自分の心の力ではやめられなくなっている状態。これこそが依存の状態です。裏を返せば、やるべきことを優先できるのであれば、健全にゲームをしているということ。あなたはどちらですか。自分でやめられますか？それとも、誰かに言われないとやめられませんか？

リアル つぶやき



年が明けましたね。餅を愛してやまない田中です。今年もよろしくお祈りします。年末に今年実施する授業について相談された先生がいらっしゃいました。わざわざ、課に足を運んでくださいました。この通信も毎回読んでくださっているらしく話が盛り上がり、2時間ほどして帰っていかれました。▼よかったよかったと思っていたところ、30分後に課へ電話がかかります。「すみません。自宅のカギを落としてしまいました。フロアに落ちていませんか？」スペアキーもないらしくカギが無いと家へは入れないそうです(´_ゝ) 課をあげてのカギの捜索が始まります！そういえば、今どこにあるかスマホでわかるキーホルダーとかあるらしいですね。人生の大半を探し物に費やしている私にとっては、一番必要なアイテムかもしれません。明日は我が身に感じながら応接ソファや机の下を探します。▼すると戸棚を探していた職員のところから、靴が1足落ちてきました… おお 2年前に無くなった私の靴ではありませんか(´▽`*) できれば、もう片方も見つければありがたい。ということで、カギともう片方の靴の捜索です。「あったー！」捜索しているみんなが振り返ります。「よかったぁ これであの先生家に入れるね！」いや(汗) あのお… すみません。見つかったのは私のもう片方の靴です(・・;) 結局、見つからなかったカギ。本当にごめんなさい(T_T) ▼位置がわかる便利なキーホルダーだけど、やっぱり靴に付けるのは無理だよなー なんて思っていたが、よく考えると靴を失くしたことを1年以上も忘れていた私。たとえば、そんな便利な機能があっても、そもそも靴のことを覚えていなければ、探そうとはしませんね。▼2021年は、自分の周辺道具の充実より、自分自身のバージョンアップに努めたいと思いました。って言って、そう宣言したことも忘れてしまうのではと相変わらず心配な一年になりそうです。